

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは [www.raptokyo.co.jp](http://www.raptokyo.co.jp) から

## 「未来を考える」

年度末が近づき、何かと時間に追われることが多くなる時期です。道路工事が多くなったり、公的機関が混雑したり etc…。そんな時期に「七つの習慣」を読み返してみました。

ご存じの方も多いと思いますが、自己啓発本のベストセラーである「七つの習慣」。何度も読んでいるのですが、あらためてある一部分に注目しました。

七つの習慣のうち第三の習慣で「第二領域を重視せよ」とあります。第二領域とは重要と緊急を軸にし、四つの領域を整理したときの第二領域のことです。(時間管理のマトリクス)

第一領域：緊急でかつ重要なこと (クレーム処理や締切りのある仕事等)

第二領域：緊急でないが重要なこと (準備や計画、自己啓発や健康管理)

第三領域：緊急だが重要でない (多くの電話や会議、雑事等)

第四領域：緊急でもないが重要でもない (食電話、テレビ鑑賞など)  
毎日の仕事の多くは第一領域、第三領域にあてはまります。今日のやることを整理してみると、多くがこの領域にあり、忙しさに追われている人はこの領域の仕事に振り回されているといえます。そして、ちよつと気を抜いていると、第四領域のことに時間を費やしてしまったりすることもあります。第二領域に費やす時間をなるべく作りだし大切にすべきところが、少なくなる或いはゼロになってしまうことを問題にしないといけないということです。

第二領域に属するのは、将来的な準備や計画、新商品開発や既存商品・サービスの品質向上、個人の分野では健康管理、自己啓発などが当てはまります。どれも今やらなくても一応は問題なく済んでしまう事なので、最終的には自分次第。意識的に時間を

作り、事を起こさない限り何もスタートしない、簡単そうですが非常に難しいことだと改めて感じます。

「緊急でかつ重要なこと」は、すぐにやらなければいけないことであり、成果も見やすいため時間を多くとられがちです。クレームに対する処理などは、後回しにできないことですが、それを少しでも減らしていくことを考えるのは第二領域かもしれません。

戦略や新規事業について考える、広告や販促活動について考えることは、すぐに成果が出にくく、見える形で進行しにくいものですが、どれも重要なことばかりです。今日の仕事は数か月、数年前に考えて行動し、実際に種をまいたものです。すぐに結果はでないが「未来の仕事」を考える重要な時間に投資できるような、時間管理をしていきたいものです。

年度末、忙しいと感じているのは、どの領域か？意識しながら日々、仕事をしていきたいと思えます。

余談ですが、このラップニュースも本来は第二領域のはずが、気が付くと第一領域になってしまっています。来月こそ！と思いつつ、お客様へ少しでも役立つ内容をお送りしていきたいと思えます。

## ご案内

ホームページ、会社案内、名刺、ノボリ、クリアファイル etc…。  
貴社だけのオリジナルデザインで制作します。お気軽にお問合せください。  
Tel:042-349-3535



■ラップニュース読者の皆様へ。  
ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったらご意見をお聞かせください。